

真の友好をめざして 「杉並・ソチヨ」シンポジウム

今年の夏は、中学校の教科書採択がおこなわれます。

「つくる会」(藤岡信勝氏・自由社)からと、そこから分裂した「教科書改善の会」(八木秀次氏・育鵬社)から、それぞれ歴史・公民の教科書が出版され、検定を通過しました。どちらもほぼ同じスタンスで、侵略戦争を肯定し、愛国心を強調していることには変わりありません。

その「つくる会」歴史教科書を杉並区が採択して6年が経ちました。

その間、子どもたちも教師も大変な思いをしてきたのです。

2005年5月、私たちは、「つくる会」歴史教科書の採択はアジアの人々との友好関係を損なうことになると考え、杉並区と友好都市関係にある韓国ソウル市ソチヨ(瑞草)区から、区長さんや国会議員さん、市民の方々をお招きして、「今こそ対話を!」のシンポジウムを開催しました。

しかし、山田前区長は、そのソチヨ区とのシンポジウムへの参加を拒否するばかりか、韓国側ゲストの来日を阻止すべく妨害活動さえしました。そしてなりふり構わず「つくる会」教科書の採択を強行しました。その時の悔しさと申し訳なさを、この6年間忘れることはありませんでした。

今年こそ、「つくる会」と「教科書改善の会」の教科書採択を阻止しましょう!

そして、6年前のソチヨ区の皆さまへの非礼をわび、友好を一步前へ進めるために、再度、日・韓シンポジウムを開催することにしました。

**2001年からちょうど十年、
杉並の「あの教科書は子どもたちに渡さない!」運動に、
今年こそ決着をつけましょう!**

7・16集会参加を呼びかけます

有村一己(杉並革新懇事務局長) 池田香代子(翻訳家) 石崎あつ子(元社会教育委員)
遠藤織枝(元大学教授) 金丸和彦(都教組杉並支部長) 熊谷博子(映像ジャーナリスト)
桜井秀樹(杉並区教職員組合委員長) 大門哲(元杉並区教育委員) 高嶋伸欣(琉球大学名誉教授)
永田浩三(元NHKプロデューサー・武蔵大学教授) 中原道子(早稲田大学名誉教授)
中村平治(東京外国語大学名誉教授) 林知子(群馬大学名誉教授) 服藤早苗(女性史研究者)
三上昭彦(明治大学教授) 安本ゆみ(前杉並区教育委員) 吉武輝子(作家)

会場のご案内

杉並産業商工会館

東京都杉並区阿佐谷南3-2-19

JR阿佐ヶ谷駅南口徒歩5分 東京メトロ 南阿佐ヶ谷 徒歩3分

※真に申し訳ありませんが、当会場にはエレベーターがありません。
お手数ながら事前にご連絡をいただければ、スタッフが待機し、
3階までお運びします。お気軽にお声をおかけくださいませ。

